

令和8年度滋賀県立高等学校入学者選抜における 石山高等学校音楽学科の実技検査に関する概要

1 実技検査の期日および日程

(1) 学校独自型選抜

- ・期日 令和8年2月26日(木)
- ・日程 9:00 ～ 9:10 出欠調査、一般注意①
9:10 ～ 9:20 休憩
9:20 ～ 9:40 聴音記譜
9:40 ～ 9:50 休憩
9:50 ～ 10:00 一般注意②
10:00 ～ 11:40 実技検査その1
11:40 ～ 12:30 昼食休憩
12:30 ～ 実技検査その2

(2) 学校独自型選抜（追検査）

- ・期日 令和8年3月2日(月)
- ・日程 9:00 ～ 9:10 出欠調査、一般注意①
9:10 ～ 9:20 休憩
9:20 ～ 9:40 聴音記譜
9:40 ～ 9:50 休憩
9:50 ～ 10:00 一般注意②
10:00 ～ 10:10 休憩
10:10 ～ 実技検査

(3) 二次募集

- ・期日 令和8年3月16日(月)
- ・日程 9:00 ～ 9:10 出欠調査、一般注意①
9:10 ～ 9:20 休憩
9:20 ～ 9:50 作文
9:50 ～ 10:00 休憩
10:00 ～ 10:30 面接
10:30 ～ 10:40 休憩
10:40 ～ 10:50 一般注意②
10:50 ～ 実技検査

2 受検場

石山高等学校 湖声ホール （※全日程共通）

3 検査内容

※学校独自型選抜追検査および二次募集における実技検査の内容は、本検査に準ずるものとする。ただし、二次募集については聴音記譜を除く。

(1) 共通課題 受検者全員について検査する。

- ア 聴音記譜 a 旋律聴音 調は、ハ長調またはイ短調とする。
b 和音聴音 調は、ハ長調またはイ短調とする。

イ 視唱 コールユーブンゲン No. 18～No. 35 より当日指定された1曲を視唱する。

(2) 演奏実技

受検者は次のア、イまたはウに掲げる入学後専攻したい実技を選び、演奏する。

ア 声楽で受検する者

次の(ア)、(イ)の両方について検査する。

(ア) 次に示す曲の中から1曲を選び、全節を暗譜で歌う。

「花の街」	ハ長調 (江間 章子作詞 團 伊玖磨作曲)
「早春賦」	変ホ長調 (吉丸 一昌作詞 中田 章作曲)
「Caro mio ben」(カロ ミオ ベン)	変ホ長調 (作詞者不明 ジョルダニ作曲)
「Caro laccio」(カロ ラッチョ)	変ホ長調 (作詞者不明 ガスパリーニ作曲)

注1 「Caro mio ben」(カロ ミオ ベン)、「Caro laccio」(カロ ラッチョ)については、原語で歌うこと。

注2 伴奏は、検査担当者が行う。

注3 出願時に提出する曲目提出用紙にて選んだ曲を歌うこと。

(イ) 副科ピアノ実技

次に示す音階の中から、検査当日、指定する一組の音階をピアノで演奏する。

ハ長調とイ短調の音階
ト長調とホ短調の音階
ヘ長調とニ短調の音階

注1 ハノンピアノ教本通りに暗譜で演奏すること。

- ・長調は、音階を演奏し、カデンツを弾くこと。
 - ・短調は、和声短音階に続き、旋律短音階を演奏し、カデンツを弾くこと。
- (※譜例参照)

イ ピアノで受検する者

次に示すⅠ、Ⅱの曲の中からそれぞれ1曲ずつを選び、演奏する。

Ⅰ バッハ作曲 3声のシンフォニアより 任意の1曲 または バッハ作曲 平均律クラヴィーア曲集第Ⅰ巻より 任意の1曲(フーガのみ)
Ⅱ ベートーヴェン作曲 ピアノソナタ第1～18番より 任意の1曲の第1楽章 (ただし、第8、12、13、14、17番は除く)

注1 Ⅰ、Ⅱともに出願時に提出する曲目提出用紙にて選んだ曲を演奏すること。

注2 演奏は、暗譜で行い、繰り返しはしないこと。

ウ 次に示す楽器で受検する者

次の(ア)、(イ)の両方について検査する。

(ア) 次に示す楽器の中から、入学後、専攻したい楽器を選び、任意の練習曲または独奏曲5分以内を、無伴奏で演奏する。

弦楽器	ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス
管楽器	フルート オーボエ クラリネット ファゴット サクソフォーン トランペット ホルン トロンボーン ユーフォニアム チューバ
打楽器	小太鼓 マリンバ

注1 出願時に提出する曲目提出用紙にて選んだ曲を演奏すること。

注2 弦楽器の演奏は暗譜で行う。管楽器、打楽器の演奏についての暗譜は任意とする。

注3 いずれの演奏も繰り返しはしない。

注4 受検場で準備する楽器はコントラバス、チューバ、小太鼓およびマリンバの楽器本体のみとし、マウスピース、バチなどの備品は貸し出しを行わない。
これら以外の楽器については各自で準備すること。

(イ) 副科ピアノ実技

次に示す音階の中から、検査当日、指定する一組の音階をピアノで演奏する。

ハ長調とイ短調の音階
ト長調とホ短調の音階
ヘ長調とニ短調の音階

注1 ハノンピアノ教本通りに暗譜で演奏すること。

・長調は、音階を演奏し、カデンツを弾くこと。

・短調は、和声短音階に続き、旋律短音階を演奏し、カデンツを弾くこと。

(※譜例参照)

譜例

ハ長調

The musical score is written for piano in G major (ハ長調) and 2/4 time. It consists of four systems of staves. The notation includes various musical elements such as notes, rests, and fingerings. The first system shows a treble and bass staff with a key signature of one sharp (F#) and a 2/4 time signature. The second system continues the melody and accompaniment. The third system features a treble staff with a '8va' (octave) marking and a bass staff with a '4' marking. The fourth system concludes the piece with a final chord and a double bar line. The score is written in a standard musical notation style with a clear layout and a professional appearance.

イ短調

First system of piano score in E minor, 2/4 time. The treble staff contains eighth-note patterns with fingerings (1, 2, 3, 1, 2, 3, 4, 1) and an 8va trill in the final measure. The bass staff contains eighth-note patterns with fingerings (5, 4, 3, 2, 1, 3, 2, 1, 4).

Second system of piano score in E minor, 2/4 time. The treble staff continues with eighth-note patterns and fingerings (3, 4, 1, 3, 4, 1, 3). The bass staff continues with eighth-note patterns and fingerings (1, 1, 3, 1, 1, 1, 5, 4, 3, 2, 1).

Third system of piano score in E minor, 2/4 time. The treble staff includes an 8va trill and continues with eighth-note patterns and fingerings (1, 1, 3, 4, 1, 3, 4, 1, 3, 4, 1). The bass staff continues with eighth-note patterns and fingerings (4, 3, 4, 1, 3, 4, 1, 3, 4, 1).

Fourth system of piano score in E minor, 2/4 time. The treble staff concludes with sustained chords (E4, D4, C4, B3). The bass staff continues with eighth-note patterns and fingerings (3, 4, 3, 1, 1, 4, 3, 1, 5).